

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

[1] 次の集で表せ。

- a) 10以上20以下の3の倍数全体の集合。
 b) かけのひらがな全体の集合.
 c) $\{x \mid x \text{ は } 24 \text{ の正の約数}\}$
 d) $\{4n - 3 \mid n \text{ は } 6 \text{ 以下の自然数}\}$

[4] 全体集合を実数全体の集合とし、部分集合 A, B を

$$A = \{x \mid -1 \leq x \leq 5\}, \quad B = \{x \mid -2 < x \leq 3\}$$

とする。このとき、次の集合を求めよ。

- a) $A \cap B$
 b) $A \cup B$

c) \overline{A}
 d) \overline{B}

[2] 次の集合を内包的方法で表せ。

- a) $\{1, 4, 7, 10, 13, 16, 19\}$
 b) $\{2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19\}$
 e) $A \cap \overline{B}$
 f) $\overline{A} \cap \overline{B}$

[3] 20以下の自然数の集合を全体集合 U とし、その中で12の約数の集合を A 、18の約数の集合を B とするとき、次の集合を外延的方法で表せ。

- a) $A \cap B$
 b) $A \cup B$
 c) \overline{A}
 d) \overline{B}
 e) $A \cap \overline{B}$
 f) $\overline{A} \cap \overline{B}$

[5] 集合 $A = \{a, b, c, d\}$ の部分集合をすべて書け。

6 集合 $A = \{a, b, c, d, e, f\}$ の部分集合全体の集合を \mathcal{P} とするとき、 \mathcal{P} の要素の個数 $n(\mathcal{P})$ を求めよ。

9 1から500までの整数のうち、8の倍数全体の集合を A、12の倍数全体の集合を B、15の倍数全体の集合を C とする。

a) $n(A), n(B), n(C)$ をそれぞれ求めよ。

7 集合 A, B が全体集合 U の部分集合で

$$n(U) = 100, \quad n(A) = 60, \quad n(B) = 40, \quad n(A \cap B) = 15$$

であるとき、次の集合の要素の個数を求めよ。

a) \bar{A}

b) $A \cup B$

b) $n(A \cap B), n(B \cap C), n(C \cap A)$ をそれぞれ求めよ。

c) $\bar{A} \cap B$

d) $\bar{A} \cap \bar{B}$

c) $n(A \cup B \cup C)$ を求めよ。

8 100人の人を対象に、2つの提案 a, bへの賛否を調べたところ、aに賛成の人は77人、bに賛成の人は83人、aにもbにも賛成の人は66人いた。aにもbにも賛成でない人は何人いるか。